

シ、大正十三年ノ九一、三%ヲ最高ニ昭和六年五〇、一%昭和七年六五%トナリ受檢ニ當ツテハ私共ハ油汗ヲサヘ出シテ居リマス。不合格トナレバ一俵八十錢モ差違アルノデアリマス。苦心慘澹シテ生産シタモノガ不台ト宣告サレタ時ノ氣持ハ誠ニ「泣クニ泣カレヌー」デアリマス。

「生産者ノタメノ検査」ハ斯シテ、何日ノ間ニカ「生産者ヲ泣カス検査」ニ變ツテキマス。殊ニ此ノ米ヲ小作米トシテ納入スル「小作人ヲ泣カス検査」ニ！

然ラバ此ノ検査制度ニ依ツテ利益スル者ハ誰カ？ソレハ米商人ト地主トデアリマス。米穀商ハ此ノ検査ヲ利用スル道ヲ知ツテ居リマス。庭先相場ト取引所ノ正米相場ノアマリエモ大キナ開キハ、雄弁エコノコトヲ物語ツテ居リマス。

就中四割エモ達スル不合格米、及ビクツ米ハ商人ノ好餌デアリマス。市場ニウツク煩瑣ヲイトフ農民ハ、ミスミス商人ニ利益サレテ居マ

ス。又地主ハ勞セズシテ穀物検査規則ノ施行ニヨリ斯如立派ナ手間ノカ、ツタ産米ヲ受取ツテ、利益ヲ得ツ、アリマス。

斯様ニ今日ノ産米検査ハ、肝心ノ生産者殊ニ小作人ヲ泣カセテキルモノデアリマスガ、當局ガ斯ル不合理ノ制度ヲ維持シ、更ニ峻嚴エセラル、ノハ、數々ノ理由ガアルコト、思ヒマス。ソノ一ツトシテ從前格差ノ高カツタ岡山縣産米ガ他府縣ノ産米改良ニヨツテ、格差ノ縮少サレタノヲ無理矢理ニソノ格差ヲ維持サレントシツ、アルコトニモ原因シマセウガ、標準米決定ニアホツテ、有力米穀商ト官吏ヲ主トシ、生産者トシテハ僅ニ篤農家ト稱セラレテ去性サレタ農民ヲソレモ數人ノミヲ加ヘテキルニ過ギナイ事實ハ、一体何ヲ物語ルモノデアリマセウカ？私共ハ茲ニ此ノ規則ノ趣旨ヲ疑フ者デアリマス。

魂マレ、私共小作人ハ斯ク立派ナ米ヲ苦心慘澹油汗ヲ流シテ生産シ小作米トシテ地主ニ納入スルノデアリマス。當初検査規則ノ制定サ